

事前評価チェックシート

計画の名称： むつ市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 目標の趣旨は「効率的な下水道施設の管理運営と継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしの実現」となっており、上位計画と整合している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
I. 目標の妥当性 目標の趣旨は「効率的な下水道施設の管理運営と継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしの実現」となっており、地域の課題と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、効率的な下水道施設の管理運営と継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしの実現のために必要な施設の改築達成率となっており、目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、施設の改築達成率としており、明瞭な指標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、効率的な下水道施設の管理運営と継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしの実現のために必要な施設の改築工事及び関係する業務委託となっており、目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 市の公共施設管理に係る上位計画におけるパブリックコメントの実施や、下水道事業計画の際の地域毎の住民説明等により、公共施設の適正管理及び下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 下水道施設は供用開始から20年近く経過して老朽化が進んでいる施設が多数あることから、地域住民の安全・安心・快適な暮らしを実現するためには、設備の長寿命化対策による効率的な下水道施設の管理運営と継続的な水質保全が必要不可欠である。	○